



たけだ正光県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

武田議員 ロシアによるウクライナ侵略は、収束の見通しが立っておらず、多くの方が国外避難を余儀なくされ、今後も我が国、更には本県の避難民が増加すると考えられる。

このような避難民の方々と、国や地域社会でしっかりと受け止め、安全で平穏な暮らしができる環境をつくるのが求められていると

ウクライナ避難民 確かな支援を

考える。そこで2点伺う。

ウクライナ避難民の状況
武田議員 ①ウクライナからの避難民の状況はどうか。

六澤副知事 ウクライナから日本国内へ避難された方は、出入国在留管理庁によると、5月30日時点で1,149人となっています。そのうち本県へ避難された方は、6月1日時点で39



自民党を代表し、6月県議会で県の姿勢をたずねた武田正光議員

知事の政治姿勢問う

6月県議会代表質問

流山市選出の武田正光議員は、6月県議会の代表質問に登壇。学校給食費無償化、県職員の飲酒運転事故について知事の政治姿勢を厳しく追及。更にコロナ対策、道路問題などをたずねた。

※紙面の関係で主な質疑応答を掲載する。

学校給食費の無償化
武田議員 学校給食費の無償化について、昨年6月議会でも「検討する」との答弁だったが、その後、具体的な動きが見えない。

学校給食費の無償化 公約守れ

た学校給食費の無償化をどのように進めていくのか。

熊谷知事 未来を担う子供たちと保護者を支援し、教育の環境を整えることは大変重要なことです。しかし物価の高騰により家計への負担の増加が懸念をされ、特に成長期の子供がいる世帯では影響が大きく、支援が必要だと考えています。

また、市町村対象の調査によると、県内21の市町村が、給食費無償化を実施しておりますが、食料費の高騰は、取組の継続に課題が生じる可能性があります。

県としても、市町村や保護者の負担を軽減するため、国の経済対策の活用も視野に、実施に向けた検討を進めてまいります。

早期に学校給食費無償化

飲酒運転根絶求む

県職員の飲酒運転事故
武田議員 昨年6月、八街市で飲酒運転のトラックにより、児童5人が死傷する事故から1年が経過した。ところが、その翌日に県職員が飲酒運転で事故をおこしていたことがわかり、支援が求められます。

このため、県では、市町村等と連携し、見舞金を支給するとともに、避難民の実情に即して、県営住宅や一時滞在先の確保、日本語学習機会の提供など、各種の支援を実施しております。

武田議員 ②避難民の支援にどう取り組んでいるのか。

六澤副知事 避難民の方々とそれぞれの置かれた状況に応じて、きめ細やかな

村も含めて県の動向に注目しており、県が支援に踏み切れ、更に広がって行くことも期待される。

知事は、早期に学校給食費の無償化を行うべきではないか。

熊谷知事 物価高騰の影響により、特に子供の多い世帯について、家計負担が

増える可能性があります。こうした世帯を対象とした学校給食費の無償化を年度内には実施できるように、速やかに準備を進めてまいります。

早期実施に向けて、具体的な制度内容を早期に示し、市町村とも連携して、スピード感をもって進めていただくよう要望する。

か、県がこの事実を公表したのは、事故から10か月以上たった5月だった。

今回の県職員による飲酒運転事故の公表が遅くなったことについて、知事はどう考えているのか。

熊谷知事 八街市での事故の翌日に、職員が飲酒運転事故を起こしたことは、誠に遺憾であり、重く受け止めております。

今回の事案の公表時期については、任意で捜査が進められたことから捜査状況見極めのため、その時点で公表しなかったところですが、また、起訴時点で公表も考えましたが、不起訴となつたことから、懲戒処分の時点で公表したところです。

県民の信頼を失う
武田議員 飲酒運転による事故の事実があった以上、

武田正光議員・代表質問一覧	
※黄色の帯は、本リポートで取り上げた質問	
1	知事の政治姿勢→1面
2	令和4年度の財政運営
3	地域経済の活性化
4	新型コロナウイルス感染症への対応→2面
5	ウクライナからの避難民の支援→1面
6	行財政運営
7	成田空港
8	防災対策
9	子ども医療費
10	医師の確保
11	金属スクラップヤード等への対応→2面
12	カーボンニュートラルの推進
13	農林水産業の推進
14	県内の幹線道路ネットワーク→2面
15	スポーツ・文化振興
16	教育問題
17	交通安全対策

●流山市や県政のご相談、ご要望をお聞かせください

たけだ 正光 県議事務所

〒270-0163 流山市南流山4-1-8-1105
TEL.04-7159-0518
FAX.020-4666-1033

ホームページ たけだ正光 検索

<http://www.takeda-hashiru.com>

て、自らの行動を厳しく律するとともに、県民に範を示す立場として飲酒運転の根絶に率先して取り組むことを規定している。

知事はもちろん、職員には、飲酒運転の根絶に向けた意識の徹底を強く求める。また、今回に限らず、悪い情報は早く報告、公表するものが組織運営の基本と考える。5月の公表後も、知事のSNSに、この件を取り上げた形跡はない。県政の動きを発信するのであれば、良い情報だけでなく、悪い情報も含めて発信するのが、トップに立つ者としての役割ではないか。

知事においては、情報発信にあたっては、十分にお考えいただいた上で適切に行われるよう要望する。

予断許さぬ対応

新型コロナウイルス感染症対策

県あげて万全を期せ

ワクチン接種への取組

武田議員 最近の新規感染者数は全国的に減少傾向

にあり、規制緩和の取組が本格化しているが、感染拡大に繋がるなどの声もあり、必要な医療提供体制等の確保に努めなければならない。そこで県は、新型コロナワクチン接種の促進にどのように取り組んでいるのか。

滝川副知事 県では、市町村や医療機関などと連携

するとともに、ＪＲ津田沼駅に近接する県集団接種会場において接種を進め、５月末現在の３回目接種率

は、12歳以上で66%、60歳以上で88%となっています。また、4回目接種については、5月から市町村で順次開始されているほか、7月から県接種会場でも実施する予定です。

若い世代の接種促進

武田議員 若い世代の接種促進に取り組むのか。

滝川副知事 集団接種会場が平日の受付時間を夜8時まで延長し、また、土曜日の接種を行うなどにより、利便性向上に努めています。

また、大学や専門学校等に対し、職域接種の実施や、集団接種会場の活用などを働きかけ、更にSNSによる情報発信等、若者の働きかけを進めてまいります。

受診・検査体制の強化

武田議員 感染拡大が生じて、迅速・スムーズに受診や検査ができる体制を強化すべきと考えますが。

滝川副知事 県では、発熱外来を行う医療機関の拡

充に向けた取組を進めており、5月末で発熱外来医療機関は1,364か所、発熱外来指定医療機関は、918か所となっております。

また、検査能力も、1日約4万1千件へと拡充し、更に高齢者施設等に検査キットを配付しました。

今後とも速やかに受診・検査を進めてまいります。

千葉県医師会の協力

武田議員 発熱外来の指定増加に向け、千葉県医師会の協力をどう得ているのか。

滝川副知事 これまでも、千葉県医師会と意見交換を重ね、発熱外来の指定増加を進めてきました。また、県と県医師会合同による説明会開催や指定促進のQ&Aを作成・公表するなど二層の連携に努めております。

発熱外来の指定

武田議員 千葉県は、全国的に見ても少ない状況だ。千葉県医師会とも意見交換を行い、指定増加等に努めているとのことだが、事務方任せでなく、知事自らも直接働きかけて、より一層の協力が得られるよう要望する。

自宅療養者等への対応

武田議員 自宅療養者等への対応はどうか。

滝川副知事 現在、保健所が自宅療養開始に当たって、携帯電話により療養生活に必要な情報を提供し、また、自宅療養中の健康不安等に対して、24時間体制のフローアップセンターを設置するとともに、パルスオキシメーターを本年2月には約9万5千台まで確保台数を拡充しています。

さらに、医療機関や訪問看護ステーションと連携した往診等実施体制の強化、酸素吸入器の確保等、自宅療養者等に対する診療体制の確保を図っています。

保健所の体制強化

武田議員 保健所の体制強化はどうか。

滝川副知事 4月から保健所職員をさらに16名増員したほか、人材派遣会社の活用などにより、人員体制の強化を図っております。

また、ホームページの充実、自動音声応答システム導入など、保健所の業務効率化も図っており、これらを組み合わせたことで、重症化リスクの高い方への支援を保健所が重点的に実施できる体制を整えてまいります。

臨時医療施設の活用

滝川副知事 臨時医療施設は、県の医療提供体制を補完し、医療機関の負担軽減に努めています。

臨時医療施設の活用はどうか。

滝川副知事 県として発注者としての責任を持ち、事業者との情報共有や進捗管理、実施状況のチェックなどを通じて、適切な業務運営に努めていたかどうかを要望する。

医療関係の業務委託に当たっては、県として発注者としての責任を持ち、事業者との情報共有や進捗管理、実施状況のチェックなどを通じて、適切な業務運営に努めていたかどうかを要望する。

医療関係の業務委託に当たっては、県として発注者としての責任を持ち、事業者との情報共有や進捗管理、実施状況のチェックなどを通じて、適切な業務運営に努めていたかどうかを要望する。

医療関係の業務委託に当たっては、県として発注者としての責任を持ち、事業者との情報共有や進捗管理、実施状況のチェックなどを通じて、適切な業務運営に努めていたかどうかを要望する。

医療関係の業務委託に当たっては、県として発注者としての責任を持ち、事業者との情報共有や進捗管理、実施状況のチェックなどを通じて、適切な業務運営に努めていたかどうかを要望する。

医療関係の業務委託に当たっては、県として発注者としての責任を持ち、事業者との情報共有や進捗管理、実施状況のチェックなどを通じて、適切な業務運営に努めていたかどうかを要望する。

幹線道路網の整備早めよ

広域的幹線道路網の整備

武田議員 広域的な幹線道路ネットワークの整備に、どう取り組んでいくのか。

熊谷知事 幹線道路ネットワークの整備は、半島性を克服し、県内を広く活性化

させるうえで大変重要です。現在、圏央道は、令和6年度の県内区間全線開通に向け、工事などが進められ、北千葉道路は、国施工区間の早期整備に向けて協力する

とともに、県施工区間も整備を推進し、早期の全線開通に向けて取り組みます。

新たな湾岸道路については、国・県・沿線市が意見交換する場を設定し、国による検討が具体的に進むよう、取り組んでまいります。

アクセス道路の整備

武田議員 アクセス道路の整備は、どう取り組むのか。

滝川副知事 現在、保健所が自宅療養開始に当たって、携帯電話により療養生活に必要な情報を提供し、また、自宅療養中の健康不安等に対して、24時間体制のフローアップセンターを設置するとともに、パルスオキシメーターを本年2月には約9万5千台まで確保台数を拡充しています。

さらに、医療機関や訪問看護ステーションと連携した往診等実施体制の強化、酸素吸入器の確保等、自宅療養者等に対する診療体制の確保を図っています。

保健所の体制強化

武田議員 保健所の体制強化はどうか。

滝川副知事 4月から保健所職員をさらに16名増員したほか、人材派遣会社の活用などにより、人員体制の強化を図っております。

また、ホームページの充実、自動音声応答システム導入など、保健所の業務効率化も図っており、これらを組み合わせたことで、重症化リスクの高い方への支援を保健所が重点的に実施できる体制を整えてまいります。

臨時医療施設の活用

滝川副知事 臨時医療施設は、県の医療提供体制を補完し、医療機関の負担軽減に努めています。

希望 広域的な幹線道路ネットワークは、地域経済の活性化や産業の振興、更に国土強靱化を実現するために重要な社会基盤である。

圏央道は、令和6年度の開通に向けて確実な事業の推進を、北千葉道路は、早期の全線開通に向けて積極的に取り組むよう要望する。

新たな湾岸道路も本県の発展のため重要な道路であり、早期に計画の具体化が図られるよう要望する。

アクセス道路や県境橋梁についても、着実に整備を進めるとともに、未事業化区間の事業化に向けた検討を進めるよう要望する。

また、茨城県との県境では、利根川渡河橋について、現在、事業化に向けて茨城県と協議を進めており、今

減等に資するためには、柔軟な運用が重要と考えます。このため、投資治療だけでなく入院待機患者や介助を要する高齢の軽症患者、基礎疾患等により宿泊療養施設入所が難しい方の受入れにも取り組んでまいります。

今後、利用しやすい施設となるよう、地域の医療機関との意見交換なども進めながら効果的な活用に向けて取り組んでまいります。

希望 医療関係の業務委託に当たっては、県として発注者としての責任を持ち、事業者との情報共有や進捗管理、実施状況のチェックなどを通じて、適切な業務運営に努めていたかどうかを要望する。

希望 医療関係の業務委託に当たっては、県として発注者としての責任を持ち、事業者との情報共有や進捗管理、実施状況のチェックなどを通じて、適切な業務運営に努めていたかどうかを要望する。

希望 医療関係の業務委託に当たっては、県として発注者としての責任を持ち、事業者との情報共有や進捗管理、実施状況のチェックなどを通じて、適切な業務運営に努めていたかどうかを要望する。

希望 医療関係の業務委託に当たっては、県として発注者としての責任を持ち、事業者との情報共有や進捗管理、実施状況のチェックなどを通じて、適切な業務運営に努めていたかどうかを要望する。

希望 医療関係の業務委託に当たっては、県として発注者としての責任を持ち、事業者との情報共有や進捗管理、実施状況のチェックなどを通じて、適切な業務運営に努めていたかどうかを要望する。

希望 医療関係の業務委託に当たっては、県として発注者としての責任を持ち、事業者との情報共有や進捗管理、実施状況のチェックなどを通じて、適切な業務運営に努めていたかどうかを要望する。

希望 医療関係の業務委託に当たっては、県として発注者としての責任を持ち、事業者との情報共有や進捗管理、実施状況のチェックなどを通じて、適切な業務運営に努めていたかどうかを要望する。

希望 医療関係の業務委託に当たっては、県として発注者としての責任を持ち、事業者との情報共有や進捗管理、実施状況のチェックなどを通じて、適切な業務運営に努めていたかどうかを要望する。

希望 医療関係の業務委託に当たっては、県として発注者としての責任を持ち、事業者との情報共有や進捗管理、実施状況のチェックなどを通じて、適切な業務運営に努めていたかどうかを要望する。

希望 医療関係の業務委託に当たっては、県として発注者としての責任を持ち、事業者との情報共有や進捗管理、実施状況のチェックなどを通じて、適切な業務運営に努めていたかどうかを要望する。



自席から再質問する武田正光議員

金属スクラップヤード

金属スクラップヤード規制 度末までに、332か所の事業場の内、108か所で騒音・振動、火災の発生等を確認しています。

熊谷知事 昨年度から実態調査を行っており、昨年

金属スクラップヤード等に

環境を守りつつ、資

環境を守りつつ、資

環境を守りつつ、資

環境を守りつつ、資

環境を守りつつ、資